

2023年11月16日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	進行性核上性麻痺の初発症状と予後の関係についての検討:後向き観察研究
対 象	2015年7月から2023年10月に、兵庫県立尼崎総合医療センター脳神経内科に進行性核上性麻痺により通院または入院された患者さん。
研究期間	承認日から2024年12月31日までを予定しています。
研究目的	進行性核上性麻痺(PSP)の症状の進行は速く、平均罹病期間は5~9年とされています。特に、嚥下障害の発症時期は、その後の罹病期間に大きく影響します。しかし、上記のような典型的な経過を辿る患者さんとは別に、罹病期間も長い患者さんもいらっしゃいます。その違いの一つとして、初発症状が挙げられています。そこで、本研究では、当院でPSPと診断された患者さんの初発症状とその後の経過、とくに嚥下機能低下による誤嚥性肺炎の発症時期、さらに罹病期間の関連を明らかにすることを目的とします。
利用又は提供を開始する予定日	承認日以降に試料・情報の利用・提供を開始します。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、症状、診察所見、嚥下障害や誤嚥性肺炎の有無と発症時期、胃瘻造設の有無、併存疾患、亡くなられた場合の原因疾患等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77 TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001 研究責任者: 脳神経内科 田中 智子